

下川浩一教授略歴と主要著作

雑誌名	経営志林
巻	36
号	4
発行年	2000-01-30
URL	http://hdl.handle.net/10114/00016359

下川浩一教授略歴と主要著作

昭和5年11月28日 東京に生まれる。

学歴・職歴

昭和18年3月 京都府舞鶴市明倫小学校卒業
昭和23年12月 三菱鉱業株式会社飯塚鉱業所入社
昭和26年3月 福岡県立嘉穂高等学校定時制卒業
昭和26年4月 九州大学教養学部文学科入学
昭和27年4月 三菱鉱業株式会社飯塚鉱業所退職
昭和32年3月 九州大学経済学部卒業
昭和32年4月 九州大学大学院経済学研究科修士課程入学
昭和34年3月 九州大学大学院経済学研究科修士課程修了
昭和34年4月 九州大学大学院経済学研究科博士課程入学
昭和37年3月 九州大学大学院経済学研究科博士課程修了
昭和37年4月 富山大学経営短期大学部助手
昭和38年4月 富山大学経営短期大学部専任講師
昭和39年5月 永田允子（昭和11年4月13生まれ）と結婚
昭和40年4月 富山大学経営短期大学部助教授
昭和44年10月 法政大学経営学部助教授
昭和48年4月 法政大学経営学部教授
昭和58年4月 法政大学経営学部学部長（59年3月まで）
昭和59年9月 法政大学学生部長（60年7月まで）
昭和63年12月 法政大学常務理事（平成2年4月まで）
この間、青山学院大学、東京大学、明治大学、立教大学、東京理科大学の非常勤講師を
歴任
平成11年3月 法政大学定年退職
平成11年4月 法政大学名誉教授、東海学園大学経営学部教授

学会活動

専攻分野 経営学，経営史，マーケティング，自動車産業論

昭和36年10月 日本経営学会入会
昭和40年9月 日本経営史学会入会 評議員，理事を経て常任理事（昭和61年まで）
昭和47年5月 日本商業学会入会 評議員
昭和49年6月 組織学会入会 理事
昭和61年9月 経営哲学学会入会 理事
平成5年10月 組織学会 会長
平成8年11月 国際ビジネス研究学会 理事

<業績目録>

論文

- 1963年10月 「多角的経営戦略と管理機構の変貌ーデュポン社管理機構改革の歴史的 분석を中心にー」
『富大経済論集』第9巻第3号
- 1964年10月 「ゼネラルモーターズ社における管理体制改革の歴史的検討」
『富大経済論集』第10巻第3号
- 1966年4月 「N. J. スタンダードオイル社における事業部制の形成」
『富大経済論集』第11巻第1号
- 1967年7月 「米国大企業における事業部制成立の歴史的考察（1）」
『富大経済論集』第12巻第1号
- 1967年10月 「米国大企業における事業部制成立の歴史的考察（2）」
『富大経済論集』第12巻第2号
- 1968年1月 「P. F. ドラッカー経営理念の展開と事業部制」
『富大経済論集』第12巻第4号
「GM社における事業部制の成立と財務管理（1）」
『富大経済論集』第13巻第4号
- 1968年7月 「GM社における事業部制の成立と財務管理（2）」
『富大経済論集』第14巻第2号
「米国自動車産業経営史の一断面」
『経営史学』第3巻第2号
「世界企業と事業部制」
『経済評論』7月号
- 1969年4月 「アメリカ経営史研究の分析視角」
『富大経済論集』第15巻第1号
- 1971年5月 「国際寡占めざすビッグスリー」
『エコノミスト』5月4日号
- 10月 「新経済政策下の自動車産業」
『経済評論』10月号
- 10月 「米国自動車産業経営史序説（上）ー大量生産体制確立の技術的基盤と経済的背景の歴史的検討を中心にー」
『経営志林』第8巻第3号
- 1972年1月 「米国自動車産業経営史序説（下）ー大量生産体制確立の技術的基盤と経済的背景の歴史的検討を中心にー」
『経営志林』第8巻第4号
- 1973年4月 「フォード自動車会社経営史に関する一考察ー大量生産体制下の経営理念と組織原則の史的展開を中心にー」
『経営史学』第7巻第3号
- 1974年7月 「アメリカにおけるマーケティング成立史」
『経営史学』第9巻第1号
- 10月 「日米自動車資本の国際比較」
『日本経営学会経営学論集』第44集
- 10月 「世界的不況下の自動車産業」

- 『経済評論』10月号
- 12月 「再編成の試練に立つ欧州自動車業界」
『エコノミスト』第52巻第53号
- 1975年 1月 「米国自動車業界におけるマーケティングの成立と展開（1）」
『経営志林』第11巻第3号
- 3月 「米国自動車業界におけるマーケティングの成立と展開（2）」
『経営志林』第11巻第4号
- 3月 「商業と世界市場」
『商業の経済理論』（森下二次也監修，ミネルヴァ書房）所収
- 4月 「米国自動車業界におけるマーケティングの成立と展開（3）」
『経営志林』第12巻第1号
- 9月 「国際社会と日本の自動車産業」
『自動車工業』9－9
- 12月 「転換期に立つ自動車産業の展望」
『高速道路と自動車』第18巻第12号
- 12月 「新交通体系への移行は可能かー減速経済下の産業総点検・自動車ー」
『エコノミスト』第53巻第53号
- 1976年 7月 「米国自動車産業における販売金融問題の史的考察」
『経営志林』第13巻第2号
- 10月 「第二次世界大戦後の米国自動車産業」
『経営志林』第13巻第3号
- 10月 「日本株式会社のアウトサイダー」
『日本経営史講座（4）』（宮本，中川監修，日本経済新聞社）所収
- 12月 「戦後の経営者と経営管理ートヨタ自販のマーケティングー」
『日本経営史を学ぶ（3）戦後経営史』（森川，下川ほか編，有斐閣）所収
- 1977年11月 「自動車産業の本質と国際協調」
『自動車工業』11－11
- 1978年 6月 「国際的摩擦とアメリカ自動車産業」
『自動車工業』12－6
- 9月 「Marketing and Sales Financing in the Automobile Industry: U. S. and Japan」
『Proceedings of the Third Fuji Conference』
- 1979年 6月 「米国のワールドカー構想と国際分業の行方」
『自動車とその世界』第154号
- 7月 「歴史的転換が進む米自動車産業」
『エコノミスト』第57巻第26号
- 8月 「GM でいま何が起こっているか」
『プレジデント』第17巻第9号
- 9月 「火を噴くか日米自動車戦争」
『中央公論経営問題』第18巻第4号
- 10月 「日本におけるマーケティングの展開とコンシューマリズム」
『現代経済と国家（上）』（今井，名島，広岡編，日本評論社）所収
- 10月 「Honda's Entry into the Worldwide Automobile Industry」
『Government, Technology and The Future of The Automobile』（McGraw-Hill Book

Company) 所収

- 1980年 1月 「激動する80年代の日米自動車産業」
『エコノミスト』第58巻第2号
- 6月 「日米欧自動車摩擦と日本の立場」
『国際問題』6月号
- 7月 「日本自動車摩擦とその背景」
『経済評論』7月号
- 8月 「日米自動車販売業界の体質比較（ディーラーの経営姿勢、アメリカにおけるディーラーの盛衰史その他9篇）＝連載」
『自動車販売』1980年8月～1981年4月
- 10月 「社会環境変化と日米自動車産業」
『日本経営学会報告論集』50
- 10月 「アメリカは日本車に何を求めているか」
『日産インフォメーション』10月号
- 12月 「デトロイトー転換期の表情」
『中央公論経営問題』12月号
- 1981年 1月 「世界自動車産業再編成の衝撃」
『Voice』2月号
- 1月 「アメリカにおける専門図書館と自動車産業史研究」
『専門図書館』83
- 6月 「対米自主規制と日本自動車産業の対応」
『世界週報』6月16日号
- 8月 「欧州自動車産業に生き残りの道はあるか」
『週刊東洋経済』8月8日号
- 10月 「Automobile-Grouping for Coexistence rather than International Rivalry」
『Japan Quarterly』28-4
- 12月 「新小型車開発競争にみる国内市場の動向」
『日産インフォメーション』16-6
- 1982年 1月 「日米自動車産業の生産性国際比較－技術革新と生産格差に関して－」
『経営志林』第18巻第4号
- 3月 「一触即発の貿易摩擦・孤立化する日本」
『自動車ジャーナル』22-2
- 4月 「Entrepreneurship and Social Environment Change in the Japanese Automobile Industry: On the Key Elements of Production and Innovation」
『Social Science Information』21-2
- 7月 「ゼネラルモーターズ（1）世界のトップ企業研究」
『中央公論経営問題』7月号
- 7月 「減産体制下の自動車産業」
『経済評論』7月号
- 8月 「日本における自動車メーカー・部品メーカー関係とその分業構造の歴史的発展と現代的意義－その技術革新と生産性の柔軟性に関して」
『経営志林』第19巻第2号
- 1983年 3月 「未来を開くか GM－トヨタ提携－生き残りへ相互乗入れした後－」

- 『エコノミスト』第61巻11号
- 3月 「日本の系列組織－日本自動車産業の事例を中心に－」
『組織科学』第17巻第1号
- 4月 「New Developments in International Cooperation within the Motor Industry」
『The Wheel Extended』8－1
- 7月 「日本の自動車産業の将来－海外摩擦をどう乗り切るか－」
『高速道路と自動車』26－7
- 8月 「世界自動車産業の将来展望と国際フォーラム」
『自動車工業』17－8
- 10月 「戦後日本自動車産業経営史について」
『ビジネスレビュー』31－2
- 11月 「自動車輸出自主規制の結末」
『経済評論』11月号
- 1984年1月 「アメリカにおけるベンチャービジネスとベンチャーキャピタルの新動向」
『組織科学』第17巻第4号
- 3月 「主要産業の国際競争力－自動車－」
『日本経済研究センター会報』459号
- 4月 「GM 経営革新の背景」
『日産インフォメーション』第19巻第2号
- 10月 「Product and Labour Strategies in the Contemporary Japanese Automobile Industry」
『経営志林』第21巻第3号
- 11月 「世界自動車産業における日本の挑戦とその影響（1）」
『自動車工業』18－11
- 12月 「世界自動車産業における日本の挑戦とその影響（2）」
『自動車工業』18－12
- 1985年1月 「小さな島国から地球へ－日本の自動車産業のケース」
『自動車とその世界』209
- 1月 「国際化戦略と企業組織－自動車産業ケースを中心に」
『組織科学』第18巻第4号
- 7月 「Historical Development of Motor Transport in Japan」
『経営志林』第22巻第2号
- 8月 「Japan's Keiretsu System: the Case of the Automobile Industry」
『Japanese Economic Studies, 1985 Summer』
- 10月 「米国企業は先端技術で差をつける」
『10年後のビジネスマン』（牧野昇監修，学習研究社）所収
- 11月 「成熟期を越える－自動車産業のケース」
『自動車とその世界』11月号
- 12月 「激突必至－トヨタ・GMの闘い」
『エコノミスト』12月16日号
- 1986年1月 「Special Features of Labour Relations and Worker's Participation in the Japanese Auto Industry」
『経営志林』第22巻第4号

- 3 月 「世界の産業の展望と新潮流－自動車－」
『日本経済研究センター会報』507号
- 4 月 「GM 世界戦略の驚異－ハイテク多角化の光と影」
『実業の日本』4 月 5 日号
- 5 月 「東南アジアの自動車産業動向－本格的生産に乗り出した台湾とマレーシア－」
『自動車工業』20－5
- 9 月 「アメリカ産業の社史事情－自動車産業にみる歴史的変遷－」
『経営者』40－9
- 10 月 「Product and Labour Strategies in Japan」
『The Automobile Industry and Its Workers』(S. Tolliday and J. Zeitlinco ed., Polity Press) 所収
- 12 月 「大転換時代の日米自動車産業－苦悩する日米の巨大メーカー－」
『エコノミスト』12月23日号
- 1987年 3 月 「Japan: The Late Starter Who Outpaced All Her Rivals」
『The Economic and Social Effects of the Spread of Motor Vehicles』(Theo Barker ed., The Macmillan Press) 所収
- 4 月 「世界自動車産業におけるグローバリゼーションの展望」
『ビジネスレビュー』第34巻第4号
- 7 月 「日米自動車産業の流通販売システムの国際比較と今後の自動車流通の革新」
『経営志林』第24巻第2号
- 9 月 「脱成熟時代世界自動車産業の提携とサバイバル戦略の構図」
『技術と経済』12月号
- 12 月 「日本自動車産業グローバリゼーションの展望」
『Toyota Management』12月号
- 1988年 3 月 「国際分業の進展と産業の空洞化－部品生産を中心に－」
『地域開発』3月号
- 3 月 「大転換時代に入った日本自動車産業」
『高速自動車と自動車』第31巻第3号
- 7 月 「脱成熟化時代に向けての自動車販売システムの活性化」
『自動車工業』22－7
「環太平洋分業に向かうタイ自動車産業」
『RIM』第2号
- 8 月 「大変動期迎える欧州自動車産業」
『エコノミスト』8月2日号
- 1990年11月 「フォードシステムからジャストインタイムシステムへ——自動車生産システムにおける国際移転、両者の関連と変容についての歴史的考察——」
中川敬一郎編（脇村義太郎先生卒寿記念論文集）『企業経営の歴史的研究』所収 岩波書店
- 1991年 2 月 「グローバル化の先頭を走る日本メーカー」毎日新聞社『エコノミスト』1991年2月11日号
自動車特集
- 2 月 「MIT 国際自動車共同研究の研究経過と成果についての検討」日本自動車工業会『自動車工業』1991 Vol. 25 2号
- 11 月 「日本的経営のグローバリゼーションと日米構造協議の意味するもの——自動車産業の国際化に関係して——」日本大学経済学部産業経済研究所『産業経営研究』第11号（1991）

- 1992年 1月 「日本的生産システムの歴史的背景とその現代的展開」九州大学経済学会『経済学研究』第56巻第5, 6合併号
- 3月 「国際自動車戦争の行方」学習研究社 国際関係論シリーズ『国際自動車戦争』
- 4月 「日本企業の国際化と経営管理の現地化」『現代株式会社の支配と管理』(片山伍一編) ミネルヴァ書房
- 4月 「日米自動車産業の協調」日米自動車工業会『自動車工業』1992年4月号
- 1993年 3月 「わが国自動車産業の対米姿勢」日本自動車工業会『自動車工業』
- 3月 “Globalisation and Strategy of the Japanese Automobile Industry” 法政大学経営学会『経営志林』第30巻第1号
- 7月 “Making it work: The Real Challenge of Globalization for Japanese Automobile Industry” 法政大学経営学会『経営志林』第30巻第2号
- 7月 「リストラで巻き返す米国ビッグスリー」時事通信社『世界週報』
- 8月 “The Auto Industry Enter an End of Restructuring and Globalization” 通商政策広報社 *Journal of Japanese Trade and Industry*
- 8月 「中古車市場の現状と課題」国民生活センター『国民生活』
- 9月 「原点に戻るメーカーの製品開発戦略」富士総合研究所 *Fai*
- 1994年 3月 「アメリカビッグスリーのインパクト」安保哲夫編『日本的経済システムとアメリカ』所収 ミネルヴァ書房
- 4月 “The Japanese Production System and Factory Automation”, 法政大学経営学会『経営志林』第31巻第1号
- 7月 “General Overview of Assembly Automation and Future Outlook of the Production System”, 法政大学経営学会『経営志林』第31巻第2号
- 1995年 7月 “Confronting Hard Times in the Japanese Automobile Industry”, 法政大学経営学会『経営志林』第32巻第2号
- 1996年 1月 「日本自動車流通革新の行方」『商業学会論集』
- 1月 “Restructuring and Global Strategy of the Japanese Automobile Industry and Its Perspective”, 法政大学経営学会『経営志林』第32巻第4号
- 3月 「自動車産業における国際マーケティング」角松正雄・大石芳裕共編『国際マーケティング体系』ミネルヴァ書房
- 7月 「フォードに経営参入したフォード国際戦略の秘密」産業新潮社『産業新潮』
- 10月 “Global Sourcing Global Product Strategy in the World Auto Industry, and Japanese Automakers' Global Strategy”, 法政大学経営学会『経営志林』第33巻第3号
- 1998年 1月 「自動車工業における生産システムの変化と高齢者対策の進化」法政大学経営学会『経営志林』第34巻第4号

学会報告

- 1974年10月 「日米自動車資本の国際比較」日本経営学会
- 11月 「アメリカにおけるマーケティング成立史」日本経営史学会
- 1976年 1月 「Marketing and Sales Financing in the Automobile Industry: U. S. and Japan」富士国際経営史会議
- 1979年 6月 「アメリカ経営史研究の最近の動向をめぐって」日本経営史学会
- 11月 「社会環境変化と日米自動車産業」日本経営学会
- 1980年 1月 「Marketing History in The Automobile Industry: The United States and Japan」

富士国際経営史会議

- 5 月 「自動車マーケティングの国際比較」 日本商業学会
- 4, 5, 6 月 「1980年富士国際経営史会議に関する報告」 日本経営史学会
- 7 月 「経営組織から見たアメリカ自動車産業の現状」 組織学会
- 7 月 「アメリカにおける専門図書館と自動車産業史研究」 日本経営史学会
- 9 月 「社会環境変化と日米自動車産業」 日本経営学会
- 11 月 「量産量販体制とビックビジネス体制」 日本経営史学会
- 1981年 4 月 「Entrepreneurship and Social Environment Change in the Japanese Automobile Industry: on the key element of high productivity and innovation」
Conference on the Incident of Elemental Environment on the Global Automobile Industry
- 1982年 9 月 「日本における自動車マーケティングの成立と発展」 日台経済発展シンポジウム
- 11 月 「日本の系列組織－日本自動車産業の事例を中心に－」 組織学会
- 1983年 6 月 「New Developments in International Cooperation within the Motor Industry」
International Forum
- 7 月 「戦後日本経営史に関する一考察」 日本経営史学会
- 1984年 6 月 「Product and Labour Strategies in the Contemporary Japanese Automobile Industry」
国際シンポジウム Automobile and Its Workers
- 1985年 8 月 「Motor Transport in Japan」 International History Congress
- 1987年 5 月 「The study on Automotive Sales, Distribution and Service System, and Its Further Revolution」 MIT 国際自動車フォーラム
- 1988年 5 月 「Vitalizing Automobile Sales System Toward De-matured Age: Changing Japanese Automobile Market and Recent Experience of Japanese Automobile Manufacturers」
MIT 国際自動車フォーラム
- 1989年12月 「フォードシステムからジャイトインタイムシステムへ－生産システムにおける国際移転についての一考察－」 日本経営史学会
- 1995年 9 月 「日本自動車流通革新の行方」 日本商業学会
- 1996年 6 月 “Global Sourcing Glodal Product Strategy in The World Auto Industry, and Japanese Automakers' Glodal Strategy”, MIT International Motor Vehicle Program Annual Meeting (San Paulo).
- 1998年10月 “Supply Chain Management in the U.S. and Japanese Automobile Industries: Past, Present and Future, Supply Chain Management Symposium, October 9, 1998, Vanderbilt University.”
- 11 月 「アジアにおける自動車産業の国際分業の再評価」 国際ビジネス研究学会, 1998年年次大会, 於九州産業大学

著書

- 1970年12月 「クライスラー自動車会社経営史」 オートトレードジャーナル社
- 1972年10月 「フォードー大量生産・管理と労働・組織と戦略ー」 東洋経済新報社
- 1974年 9 月 「クライスラーー第三メーカーの経営政策ー」 東洋経済新報社
- 1978年 3 月 「米国自動車産業経営史研究」 東洋経済新報社
- 1980年 6 月 「自動車王国日本・危機の構造」 ごま書房
- 1981年 1 月 「アメリカ自動車文明と日本」 文真堂

- 10月 「自動車戦略国際化の中で－岐路に立つディーラー経営－」 日本自動車販売協会連合会
 1985年 7月 「自動車産業脱成熟時代」 有斐閣
 8月 「日経産業シリーズ 自動車」 日本経済新聞
 1990年 「日本の企業発展史」 講談社新書
 1991年 「マーケティング－歴史と国際比較－」 文眞堂
 1992年 「世界自動車産業の興亡」 講談社新書
 1994年 「The Japanese Automobile Industry-A Business History」 Athlone Press
 1997年 「日米自動車産業攻防の行方」 時事通信社

共著

- 1971年 2月 「経営史概説」（アメリカ経営史の項） 南雲堂深山社
 1973年 6月 「現代日本の株式会社」（第2章1節） 南雲堂深山社
 1976年 3月 「マーケティング論」（第3章，第4章3節，第7章2節） 日本評論社
 1977年 2月 「経営史－欧米」（第3，4章，第7章1．2節，第8章1．3節） 日本評論社
 1980年 「日本の企業家（戦後）」 有斐閣

編著・共編著

- 1976年 6月 『マーケティング論』 日本評論社
 『日本経営史を学ぶ（3）戦後経営史』 有斐閣
 1977年 3月 「安定成間期における自動車産業の展望」（要約，序章，第1章）
 『マネージメント・インテリジェンス』 機械工業振興協会
 1981年 7月 「Development of Mass Marketing－The Automobile and Retailing Industries－」
 University of Tokyo Press
 1983年10月 「耐久消費財独占のマーケティング」『現代日本の流通経済（2）』 大月書店
 1989年 9月 『日本の組織（5）プロセスとアセンブリーの組織』 第一法規
 1990年10月 「戦後経営史（Ⅰ）（Ⅱ）（Ⅲ）」 東洋経済新報社
 1997年 「Transforming Automobile Assembly」 Springer

訳書

- 1967年 9月 P. F. ドラッカー著『現代大企業論（上）（下）』 未来社

共訳

- 1981年 3月 A. D. チャンドラー著「経営者企業の成長戦略」『中央公論経営問題特集』 第20巻第1号
 1984年11月 A. アルシェラー，D. ルース他著「自動車の将来」 日本放送出版会

論説

- 1994年 4月12日 「対米輸出自主規制の意義とその撤廃」『日刊自動車新聞』
 1994年 4月25日 「フジテクニカの挑戦」『日刊自動車新聞』
 1994年 5月 9日 「国内自動車市場と外車販売」『日刊自動車新聞』
 1994年 5月23日 「電装豊橋工場 CIM 自動化の印象」『日刊自動車新聞』
 1994年 5月30日 「自動車産業リストラの眺望」『日刊自動車新聞』
 1994年 6月 7日 「トヨタ RAV 4 新ラインの自動化」『日刊自動車新聞』
 1994年 6月15日 「国際自動車流通革命の行方」『日刊自動車新聞』

1994年 6月27日 「オティスク自動化の印象」『日刊自動車新聞』
1994年 7月 5日 「パリ自動車問題国際会議の印象」『日刊自動車新聞』
1994年 7月18日 「シトロエン工場訪問記」『日刊自動車新聞』
1994年 8月 1日 「IMVP ベルリン国際会議」『日刊自動車新聞』
1994年 8月10日 「GM アジアテクニカルセンター訪問記」『日刊自動車新聞』
1994年 8月22日 「ビッグスリー競争力復活の評価」『日刊自動車新聞』
1994年 8月31日 「日米包括協議の行方」『日刊自動車新聞』
1994年 9月 9日 「リエンジニアリング再考」『日刊自動車新聞』
1994年 9月17日 「スズキワゴン R の開発と生産」『日刊自動車新聞』
1994年 9月28日 「加藤発条訪問記」『日刊自動車新聞』
1994年10月 5日 「米国自動車市場とリース販売」『日刊自動車新聞』
1994年10月19日 「ホンダカナダ工場再訪記」『日刊自動車新聞』
1994年10月24日 「米国市場の最近動向と日本車」『日刊自動車新聞』
1994年11月 5日 「韓国自動車市場と起亜自動車」『日刊自動車新聞』
1994年11月16日 「自動車技術会世界大会」『日刊自動車新聞』
1994年11月22日 「北京ジープ社訪問記」『日刊自動車新聞』
1994年12月 6日 「我が国自動車流通システムの改革」『日刊自動車新聞』
1994年12月17日 「三星－日産の提携の行方」『日刊自動車新聞』
1995年 1月17日 「95年自動車の鳥瞰図」『日刊自動車新聞』
1995年 1月21日 「トヨタ産業技術記念館の印象」『日刊自動車新聞』
1995年 2月14日 「トヨタカナダ工場の印象」『日刊自動車新聞』
1995年 2月18日 「いすゞリストラの教訓」『日刊自動車新聞』
1995年 3月 7日 「ホンダイーストリバティー工場訪問記」『日刊自動車新聞』
1995年 3月15日 「自動車産業空洞化の可能性」『日刊自動車新聞』
1995年 3月15日 「完全な覇者なき日米自動車戦争の経済」『産業新潮』産業新潮社
1995年 3月16日 「自動車販売系列離れへ」『日本経済新聞（経済教室）』
1995年 4月12日 「橋本増次郎伝について」『日刊自動車新聞』
1995年 5月 8日 「顧客ニーズの変化と製品コンセプト」『日刊自動車新聞』
1995年 5月10日 「サターン・ハドラー副社長会見記」『日刊自動車新聞』
1995年 5月23日 「加速するアジア ASEAN 戦略」『日刊自動車新聞』
1995年 6月 7日 「三星自動車李会長会見記」『日刊自動車新聞』
1995年 6月16日 「ソウル国際モーターショーの印象」『日刊自動車新聞』
1995年 6月27日 「紛糾の背景に追われゆく米部品メーカーの存在」毎日新聞社『エコノミスト』
1995年 6月27日 「クライスラーブラメリア工場訪問記」『日刊自動車新聞』
1995年 7月11日 「日米自動車協議の残したもの」『日刊自動車新聞』
1995年 7月19日 「MIT トロント会議の印象」『日刊自動車新聞』
1995年 8月 8日 「PSA フィアット合併商用車工場見学記」『日刊自動車新聞』
1995年 8月22日 「挑戦する豪州自動車産業」『日刊自動車新聞』
1995年 8月28日 「競争力の本質をめぐって」『日刊自動車新聞』
1995年 9月 2日 「グローバルゼーションの潮流と円安」『日刊自動車新聞』
1995年 9月11日 「いまこそ日本はビッグスリーの大膽なリストラに学ぶべきだ」『経営塾』経営塾
1995年 9月27日 「豪州部品産業の展望」『日刊自動車新聞』
1995年10月 3日 「グローバルソーシングの行方」『日刊自動車新聞』

1995年10月12日 「豪州 GM・フォード両工場訪問記」『日刊自動車新聞』
1995年10月25日 「豪州トヨタ・三菱両工場の印象」『日刊自動車新聞』
1995年11月6日 「フォードワールドカーの意義」『日刊自動車新聞』
1995年11月21日 「クライスラー CTC 訪問記」『日刊自動車新聞』
1995年11月26日 「クライスラーデノメ副会長会見記」『日刊自動車新聞』
1995年12月4日 「開発現地化の進展と日本車」『日刊自動車新聞』
1995年12月16日 「日産スマーナ工場の近況」『日刊自動車新聞』
1996年4月22日 “Japan's auto industry must catch up on globalization”, 日本経済新聞社『The Nikkei Weekly』
1996年4月3日 「情報革命とビッグスリー」『日刊自動車新聞』
1996年4月10日 「日産九州工場の近況」『日刊自動車新聞』
1996年5月8日 「トヨタ九州宮田工場の近況」『日刊自動車新聞』
1996年5月10日 「インドネシア自動車市場と国民車構想」『日刊自動車新聞』
1996年6月1日 「インドネシア三菱エンジン工場の印象」『日刊自動車新聞』
1996年6月16日 「広がる大学の自己点検——全学的活動改革の出発点——日本経済新聞教育欄」
1996年6月29日 「インドネシア GKD 工場訪問記」『日刊自動車新聞』
1996年7月16日 「自動車販売とオープン価格制」『日刊自動車新聞』
1996年7月22日 「インドネシアモビルスズキの印象」『日刊自動車新聞』
1996年7月27日 「ASEAN 自動車連盟の発足」『日刊自動車新聞』
1996年8月6日 「トヨタアストラ社再訪記」『日刊自動車新聞』
1996年8月24日 「アストラ・ダイハツ訪問記」『日刊自動車新聞』
1996年9月11日 「IMUP サンパウロ会議の印象」『日刊自動車新聞』
1996年10月5日 「ISO 規格決定と環境経営」『日刊自動車新聞』
1996年10月22日 「トヨタ元町工場新生産ラインの挑戦」『日刊自動車新聞』
1996年10月30日 「GM ブラジル訪問記」『日刊自動車新聞』
1996年11月2日 「ブラジル自動車産業と市場の展望」『日刊自動車新聞』
1996年11月16日 「ダイハツミゼット工房」『日刊自動車新聞』
1996年11月30日 「クライスラーネオンヘルピティア工場訪問記」『日刊自動車新聞』
1996年12月3日 「北米自動車市場と販売の構造変化」『日刊自動車新聞』
1997年4月1日 「中古車流通と流通革命」『日刊自動車新聞』
1997年4月29日 「ホンダアンナエンジン工場の挑戦」『日刊自動車新聞』
1997年5月13日 「東京モーターショーのトレンド」『日刊自動車新聞』
1997年5月27日 「第2回ソウルモーターショーの印象」『日刊自動車新聞』
1997年6月18日 「大宇自動車のグローバル戦略」『日刊自動車新聞』
1997年6月28日 「大宇自動車群山工場訪問記」『日刊自動車新聞』
1997年7月5日 「GERPISA 自動車産業国際会議」『日刊自動車新聞』
1997年7月26日 「三星自動車釜山工場訪問記」『日刊自動車新聞』
1997年7月30日 「現代自動車蔚山工場の近況」『日刊自動車新聞』
1997年8月12日 「ASEAN 自動車市場の明暗」『日刊自動車新聞』
1997年9月8日 「トヨタ生産方式と TQC」『日刊自動車新聞』
1997年9月17日 「高齢者技能教育の新展開」『日刊自動車新聞』
1997年10月28日 「アメリカ自動車流通革新の行方」『日刊自動車新聞』
1997年11月10日 「起亜自動車の経営危機」『日刊自動車新聞』

1997年11月26日 「MIT 韓国フォーラム」『日刊自動車新聞』
1997年12月10日 「金融証券システム危機と法人資本主義」『日刊自動車新聞』
1997年12月27日 「地球温暖化防止と自動車」『日刊自動車新聞』
1998年 1月17日 「GMトラックセンター訪問記」『日刊自動車新聞』
1998年 1月23日 「アジア経済危機と自動車産業」『日刊自動車新聞』
1998年 2月21日 「拡大基調に乗る NUMI の近況」『日刊自動車新聞』
1998年 3月10日 「三星自動車第1号車発売と釜山工場の印象」『日刊自動車新聞』
1998年 3月17日 「マツダデジタルイノベーション」『日刊自動車新聞』
1998年 3月 「ヒロテックの新たな挑戦」『日刊自動車新聞』
1998年 3月19日 「自動車流通革命必至に」『日本経済新聞』
1998年 4月10日 「車検フォーラムを巡って」『日刊自動車新聞』
1998年 4月21日 「ビッグバンと自動車産業」『日刊自動車新聞』
1998年 5月11日 「千葉トヨペット訪問記」『日刊自動車新聞』
1998年 5月20日 「メガ大合同が意味するもの」『日刊自動車新聞』
1998年 6月 1日 「日産いわきエンジン工場の印象」『日刊自動車新聞』
1998年 6月11日 「日産自動車の構造改革に思う」『日刊自動車新聞』
1998年 6月30日 「GERPISA 年次大会」『日刊自動車新聞』
1998年 7月18日 「トヨタ UK 工場の近況」『日刊自動車新聞』
1998年 8月 1日 「ウォーレス前マツダ社長会見記」『日刊自動車新聞』
1998年 8月 3日 「インチケーブ訪問記」『日刊自動車新聞』
1998年 8月28日 「ユタカ技研の挑戦」『日刊自動車新聞』
1998年 9月 7日 「インターネット販売の今後」『日刊自動車新聞』
1998年 9月 9日 「系列取引とサプライチェーン」『日刊自動車新聞』
1998年 9月21日 「デトロイト通信」『日刊自動車新聞』
1998年10月 2日 「クライスラーの部品購買戦略」『日刊自動車新聞』
1998年10月20日 「トヨタフォレストアヒルズモデル杯訪問記」『日刊自動車新聞』
1998年11月 4日 「EISITA パリ大会」『日刊自動車新聞』
1998年11月30日 「軽新規格車登場の意義」『日刊自動車新聞』
1998年12月11日 「アメリカにおけるインターネット自動車販売の現況」『日刊自動車新聞』
1999年 1月16日 「フォードの世界戦略とジャガー社の変貌」『日刊自動車新聞』
1999年 1月23日 「今年の自動車産業激変展望」『日刊自動車新聞』
1999年 1月28日 「ダイムラークライスラーの今後」『日刊自動車新聞』
1999年 2月12日 「フォードのボルボ乗用車買収」『日刊自動車新聞』
1999年 2月20日 「山本治氏を偲んで」『日刊自動車新聞』
1999年 2月25日 「BMW-ローバー合併の行方」『日刊自動車新聞』
1999年 3月 9日 「富士重工矢島工場見学記」『日刊自動車新聞』
1999年 3月19日 「トヨタ下山エンジン工場新ラインの印象」『日刊自動車新聞』
1999年 3月27日 「ホンダイギリス工場再訪記」『日刊自動車新聞』